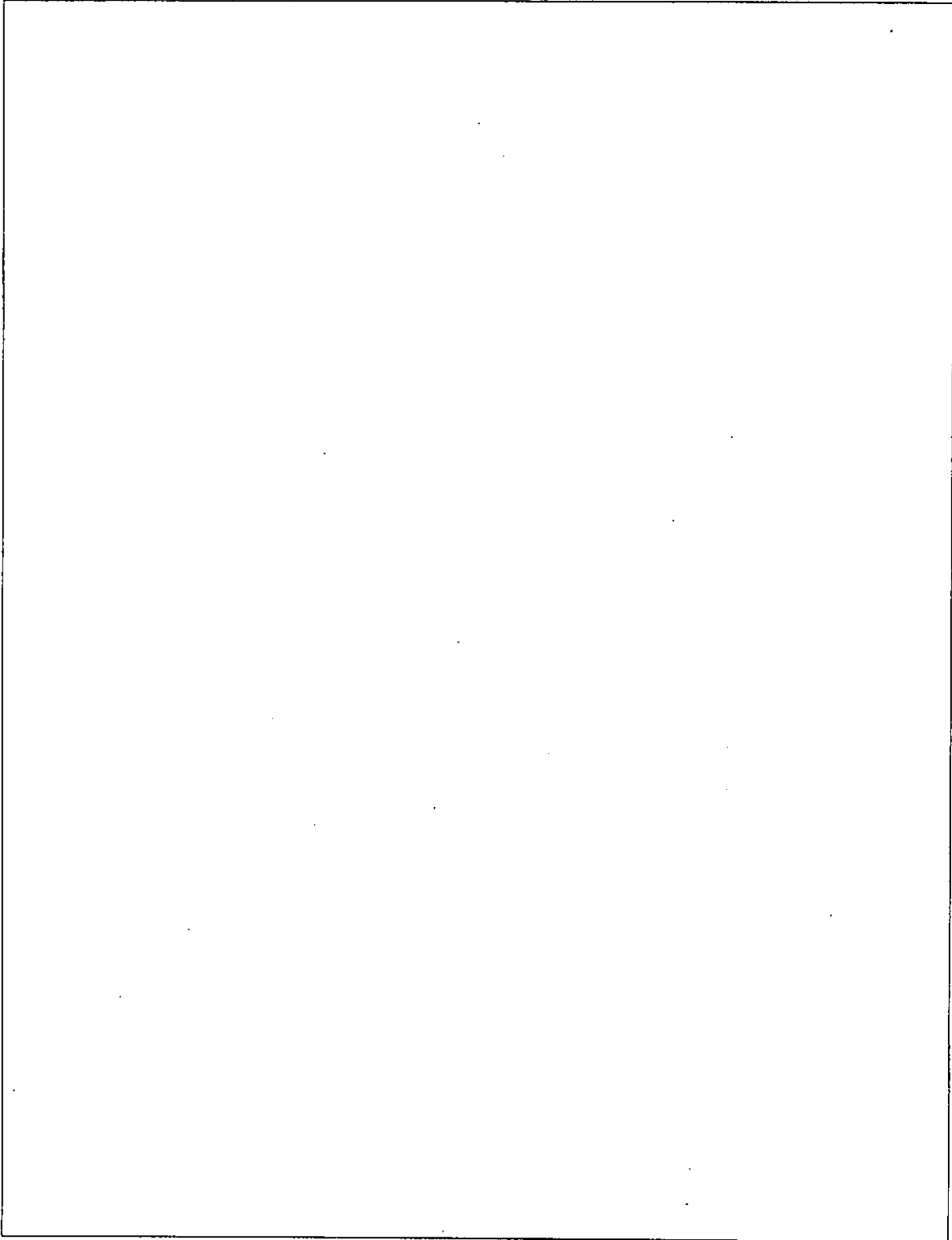


相談後用質問用紙

- ① 淋菌、クラミジアはオーラルセックス（口と性器との接触）でも感染する。
(○・×)
- ② HIV の主要な感染経路は性行為であり、特に肛門性交である。それはコンドームで予防可能である。(○・×)
- ③ 梅毒感染後、最初の症状である感染部位の潰瘍ができるまでには約 4 週間の無症状期間がある。(○・×)
- ④ 淋菌、クラミジアに感染しても潜伏期間には排尿時に痛かったり、膿が出るなどの異常は出てこない。(○・×)
- ⑤ HIV、梅毒は感染しても全く症状がなく、自分では気づかない間に人にうつすことがある。(○・×)
- ⑥ HIV 感染、梅毒の診断は医師が診ただけでは困難で、血液検査の結果を待つ必要がある。(○・×)
- ⑦ 飲み薬では治せない薬剤耐性の淋菌がある。(○・×)
- ⑧ エイズ、ヘルペスの症状は薬でよくなるが、感染したウイルスを完全になくすことはできない。(○・×)
- ⑨ 梅毒、クラミジアは完治し抗体が陽性であっても感染の機会があれば何回でも感染を繰り返す。(○・×)
- ⑩ 梅毒、淋菌、クラミジア、ヘルペスは妊婦が感染していると胎児や出産時に赤ちゃんにうつることがある。(○・×)

当相談室へのご要望や感想などありましたら、ご記入下さい。



男性用カルテ

来室日 (必須) _____ 年 _____ 月 _____ 日

ID 番号 (必須) _____

(ふりがな)

性別 _____ 生年月日 _____

氏名 _____ (男、女), _____ 年 _____ 月 _____ 日生

住所 _____

電話 _____ (携帯)

E-mail _____

現病歴 排尿時痛 (+ , -), 排尿時違和感 (+ , -)

排尿回数 (昼 _____ 回, 夜 _____ 回), 尿道分泌物 (+ , -)

既往歴

疾患

手術

輸血、血液製剤の使用

服用薬

アレルギー

タバコ

アルコール

性病

淋病

クラミジア

HIV

HPV

梅毒

HSV

HBV

HCV

その他

家族歴（とくに STD, HIV について）

来室目的

現症（必要に応じて図示する）

全身状態：栄養（良，普，不良），貧血（+ ， - ），黄疸（+ ， - ）
浮腫（+ ， - ），咽頭腫脹、発赤（+ ， - ），発熱（+ ， - ）

腹部

外陰部

陰囊内容

肛門部

直腸診

理学的所見まとめ

	年 月 日	年 月 日	年 月 日
出血、部位 ()			
発赤、部位 ()			
腫脹、部位 ()			
排膿、部位 ()			
疼痛、部位 ()			
イボ、部位 ()			
潰瘍、部位 ()			
その他、部位 ()			

検尿所見

蛋白 (+ , -), 糖 (+ , -), 潜血 (+ , -)
 赤血球 / 視野, 白血球 / 視野
 上皮 / 視野, 細菌 (+ + + , + + , + , -)

診断

検査結果

	年 月 日		年 月 日		年 月 日	
	抗原	抗体	抗原	抗体	抗原	抗体
淋菌						
クラミジア						
HIV						
HPV						
梅毒						
HSV : 疱疹ヘルペス						
HSV : 性器ヘルペス						
HBV						
HCV						
その他						

相談者への解答または Recommendation

検査結果の連絡方法

転帰

女性用カルテ

来室日 (必須) _____ 年 _____ 月 _____ 日

ID 番号 (必須) _____

(ふりがな)

氏名 _____ 性別 (男、女)

住所 _____

電話 _____ (携帯) _____

E-mail _____

1. 月 経

月 経 歴	初経 _____ 年 _____ 月 (_____ 歳) 初経より月経が正常になるまでの期間 約 _____ 年
	最近の月経 (_____ / _____ ~ _____ 日間) 正常・異常
	月経周期およそ (_____ 日 ~ _____ 日) 持続 (_____ 日)
	量 (多い・ふつう・少ない) 随伴症状 (下腹部・腰痛・その他)
	月経前症状 あり・なし
基礎体温 あり・なし その他付記事項 (_____)	

2. 妊 娠

回 (うち中絶 _____ 回 / _____ 年 _____ 月 _____ 日 / _____ 年 _____ 月 _____ 日)
--

3. 現病歴

4. 既往歴

- 疾患
- 手術
- 血液との接触
- 輸血、血液製剤の使用
- 服用薬

アレルギー
タバコ、アルコール

5. 家族歴

STD, HIV

来室目的

相談項目

主 訴:

帯下 (おりもの)

かゆみ

出血

外陰部のいぼ、できもの、きず

疼痛, 下腹痛

無月経

月経異常

排尿違和感 (排尿痛, 頻尿など)

妊娠の心配

避妊の相談

性感染症の心配

その他

他覚的所見:

外陰部 発赤 腫脹

いぼ, 潰瘍など

膣分泌物 多 中 少

性状 ()

頸管分泌物 多 中 少

性状 ()

発熱・内診圧痛

	過去の罹患	過去の病原、抗体検出	現在の危惧	パートナー
淋菌 クラミジア HIV HPV 梅毒 HSV：疱疹ヘルペス HSV：性器ヘルペス HBV HCV 脛トリコモナス カンジダ その他				

検査結果（ 年 月 日）

	抗原	抗体
淋菌 クラミジア HIV HPV 梅毒 HSV：疱疹ヘルペス HSV：性器ヘルペス HBV HCV 脛トリコモナス カンジダ その他		

必要に応じて患部を図示する)

相談者への解答または Recommendation

検査結果の連絡方法

性感染症検査に関する説明

当相談室では、性感染症（梅毒、ヘルペス、HIV など）に関する検査を受けることをおすすめ致します。検査結果につきましては、学会等で発表することがありますが、個人のプライバシーを厳守し、ご迷惑をおかけしないことをお約束致します。

なお、検査内容等についてご不明な点がありましたら、遠慮なく担当医にご質問下さい。

性の健康医学財団性の健康相談室

代表 阿曾 佳郎

.....
性の健康医学財団性の健康相談室 阿曾 佳郎 殿

性感染症検査同意書

私は、性感染症検査、特に HIV 感染症検査の実施について _____ 医師より検査内容と必要性について十分説明を受け理解しました。

つきましては、性感染症検査および HIV 感染症検査を受けることに

同意致します

HIV を除く検査のみ同意致します

同意致しません

また、検査結果を聞くことに

同意致します

同意致しません

平成 年 月 日

氏名

印

住所

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

パンフレット

監修者氏名	パンフレット名	出版社名	出版地	出版年	ページ
松田 静治	性感染症STDってなんだ？！	社会保険新報社	東京	2004	1・16

20030567

以降 P.37－P.52は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、
P.33の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

IV. エイズ対策研究推進事業
研究成果等普及啓発事業

[研究成果等普及啓発事業]
(エイズ対策研究推進事業)
結 果 報 告 書

主任研究者

財団法人 性の健康医学財団

理事長 阿曾 佳郎

1 二カ所の研究発表会開催者

福岡県北九州市：分担研究者 堀口 雅子（虎ノ門病院産婦人科医）

[研究協力者 劔 陽子・産業医大公衆衛生学助手]

東京都練馬区：分担研究者 松田 静治（江東病院産婦人科医）

2 開催表題、日時、場所

福岡県北九州市：①写真展 「Positive Lives Asia」

2004年1月20日(火)～2月1日(日)

展示時間 9:30～21:30

②トークライブ 「ポジティブ・エイズ・トーク」

同上2月1日(日)14:00～16:00

会場は、①・②ともに北九州市小倉北区大手町11の

「北九州市立男女共同参画センター “ムーブ”」1階
交流広場で開催

東京都練馬区：2004年2月12日(木) 13:30～17:00

市民公開講座「性感染症・エイズ——知ろう、話そう、
予防しよう」

会場は、練馬区東大泉1-29-1、西武池袋線大泉学
園駅北口にある「大泉学園ゆめりあホール」で開催

3 共通発表テーマ：当班がエイズ対策研究事業に応募したときの公募研究課題である「性感染症としてのHIV感染の予防に関する研究」（社会医学研究③(エ)15101101）に関連する内容であること

4 参加者数

北九州市：①入場人員延べ1,140名（“ムーブ”のカウントによる）

②80名

練馬区：206名

5 発表内容とその成果

5-1 北九州市における開催概要とその成果

北九州市における普及啓発事業については、当班としては分担研究者・堀口雅子がコーディネイターとなり、現地においては事務局を劔陽子・産業医大公衆衛生学教室助手が務め、これに北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”事業課が協力する形で実施した。

当班の開催趣旨としては、わが国の HIV/STD 感染の実態を明らかにし、市民一般に対して、それらを予防するための知識を普及・啓発するためのイベントを実施することにあつた。

特に、北九州市における本事業については、HIV/STD は特別な病気ではないことを理解し、偏見を捨て、自分の問題として考えてもらうために、若者たちを集めることに重点が置かれた。そのため、単に講演会を開催する形式ではなく、市内の中心部にある若者達が気軽に立ち寄ることの多い会場で——しかし、大学祭での併催の時のような落ち着いた会場ではなく——、写真展をみたり、トークライブで発言したりもでき、また、少し席の後ろの方では喫茶もできる、という開かれた・明るい会場で、若者参加型の方向を追求した。

この、企画の立案・実際の運営の面における数多くの感覚の新しさは、会場となった北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”の全面的な協力があつてのことではあるが、今回の成果として評価できるのではないかと考えている。

①写真展 「Positive Lives Asia」の開催

エイズとの闘いに広く理解を求めるキャンペーン活動として、全国を巡回している写真展「POSITIVE LIVES Positive Responses to HIV / ポジティブ・ライブス・アジア」を2004年1月20日(火)～2月1日(日)“ムーブ”交流広場で展開し、②のトークライブの実施日まで展示会を継続開催した。

②トークライブ「エイズと生きる。」

HIV感染者、HIV感染者を支援する人々、若者の性の問題に取り組む産婦人科医師を招き、トーク形式で HIV/STD について語っても

らい、また、会場の若者にもトークに随時参加してもらえるようにするのを目的とした聴衆参加型のトークイベントを、同交流広場で開催した。地域のマスコミ関係者の取材にも対応した（添付の新聞切り抜き参照）。

出演：長谷川 博史 氏（国内での HIV 感染者・エイズ患者のネットワーク組織「J a N P +（ジャンプ・プラス）」代表）
山本 正弘 氏（国立病院九州医療センター 内科／感染症対策室医師）
北村 紀代子 氏（人権と共生を考える エイズ・ワーカーズ・福岡）
堀口 雅子 氏（性と健康を考える女性専門家の会会長。産婦人科医師）

司会進行：劔 陽子・産業医大公衆衛生学教室助手・医師

なお、当日の様子についてのさらなる情報は、添付の新聞切り抜きなどを参照されたい。

5-2 練馬区における開催趣旨とその成果

練馬区における普及啓発事業については、当班としては分担研究者・松田静治がコーディネイターとなり、現地においては練馬区保健所の全面的な協力を得て、市民公開講座を実施することができた。

練馬区の事業の特色は、北九州市における開催趣旨が特に若者を集めるための新鮮な工夫がなされたのに対比して、やや古典的とも言える、幅広い聴衆に対応した「市民公開講座」であったが、練馬区保健所の尽力によって聴衆は幅広い年齢層にわたって参集することとなった。特に、都立大泉高校 1 年生 70 名が教官引率のもとに参加したので、演者も高校生の参加者を意識した HIV/STD の説明となったのは、今回の特色といえる。

他の参加者は、教育・保健関係者が多数を占めたが、保健所によって地域にたいするきめこまかい広報がなされた結果、若干ではあるが一般の家庭人も参加されていた。その結果、定員 178 名を超す参加者があり、会場管理者から苦情がでるほどであった。

こうしたイベントを成功させるにあたっては、地域の保健所、教育・医療関係者との連携が極めて大切であることを、改めて認識させられた次第である。

なお、出演関係者は、以下のとおり。

あいさつ 練馬区保健所長・北島 和子

【第1部 講演】 司会 松田 静治 江東病院産婦人科医

「若者に広がる性感染症の現状とその対策」 早乙女智子（回生会ふれあい横浜ホスピタル産婦人科医長）

「わが国のエイズの最新情報」 根岸 昌功（東京都立駒込病院感染症科部長）

【第2部 パネルディスカッション 「若者の性と健康」】司会 島崎 継雄（日本性科学情報センター所長）

松田 静治・早乙女智子・根岸 昌功 各氏のほか、久保田 繁（産科婦人科久保田病院長）、豊永 祐里（東京都立第四商業高等学校養護教諭）

閉会の辞 桜井 賢樹（財団法人エイズ予防財団国際協力部長兼研修研究部長）

なお、早乙女・根岸両氏の講演内容の詳細に付いては、当日参加者に配布した資料を添付してあるので、それを参照されたい。

総じて、今回のイベントは、一般市民に対してわが国における HIV/STD 蔓延の状況を報告し、かつ、それらを予防するための正しい知識を普及・啓発する上で、極めて有効な事業であった。

以上

添付資料一覧（数字は枚数順）

- 1 毎日新聞記事（北九州関係）
- 2 朝日新聞・西日本新聞記事（同上）
- 3 北九州イベントのちらしの1（2色刷り）
- 4 同上 2（色紙に2色刷り）
- 5 練馬関係のちらし（A4判）およびポスター（A2を縮尺）（多色刷り）
- 6 練馬会場で当日配付のプログラム
- 7～11 同上 早乙女先生講演資料（p 1～⑥）
- 12～13 同上 根岸先生講演資料（p 1～②）
- 14 北九州会場スナップ（写真の複写）
- 15 練馬会場スナップ（写真の複写）

以上